2011年8月号「vol:14」◎編集:新井絹世 横浜市磯子区丸山2-24-3 ◎電話:045-751-5250 ◎FAX :045-761-7451 www.araikinuyo.jp

県政を身近に あらい絹世 県議会議員の磯っ子レポート

東日本大震災被災地　炊き出しと視察

7月25日から26日の2日間、自民党神奈川県議会議員団有志24名で石巻市へ炊き出しと女川原子力発電所の視察に行って参りました。石巻市は6月に視察で訪れてから2回目となりますが、6月に訪れた時と状況は全く変わっていません。それだけ復興が進んでいないという事でしょう。

6月10日の石巻市内

7月25日の石巻市内

今回炊き出しを行った松巌寺も津波の被害を受けました。この地区は津波が5回襲ったそうで、お寺の外壁には5本の津波の痕がくっきりと残っていました。被災地では大量のハエが発生しており、吊るしたハエ取り紙にはわずか1時間でびっしりハエがついていました。これからますます暑くなり更にハエが増えると、衛生状態の悪化が懸念されます。

松巌寺の外壁の津波の痕

持参した三浦のスイカもハエを追い払いながら切っていました

スイカ割は大人気。

裏面につづく

あらい絹世プロフィール

- ●昭和43年3月8日　横浜市磯子区生まれ
- ●横浜雙葉小・中 / 高等学校卒業
- ●明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- ●日商岩井㈱ / ㈱メタルワン
- ●ホノルルマラソン / 東京マラソン　完走
- ●自民党かながわ政治大学12期生
- ●平成23年4月　県議会議員初当選
- ●防災警察常任委員

翌日は女川へ。
復興の第一歩とも言えるコンテナハウスの商店街が 7 月 1 日から女川にオープンしました。
その近くに『おだづなよ！津波！』と書かれた車が停まっていました。
「おだづなよ」とは「ふざけるな」「冗談じゃないぞ」という意味だそうです。津波により壊滅的な被害を受けた女川。
コンテナハウス商店街もそうですが、挫けずに前向きに進んでいく被災地の方々のパワーを「おだづなよ」の言葉に感じました。

コンテナハウス商店街

女川原子力発電所で地震訓練が行われていました

議会あれ？これ？

5 月 19 日から始まった第二回定例会議も 7 月 14 日で閉会しました。
今回は、議会の流れについて説明します。

1.議会開会
会議は議長が開きます。開くのには議員定数の内半分の出席が必要です。

→ **2.議案提案**
知事や議員が県の仕事について議案を提案します。

→ **3.提案説明**
提出された議案について提出者が詳しく説明を行います。

→ **4.質問・質疑**
提出された議案について議員が質問し知事等が答弁します。

→ **5.委員会付託**
議案は更に詳しく調べるため各委員会に送られます。

→ **6. 付託議案審査**
付託された議案など調べ委員会として賛成か反対かを決めます。

→ **7.委員会報告**
本会議を開き委員会で決まった審査結果を報告します。

→ **8.討論**
委員会報告の後、採択の前に賛成か反対かの意見を表明します。

→ **9.採択**
議案について反対か賛成かを多数決で決めます。

→ **10.議会閉会**
全ての議案の採択が行われると閉会となります。可決した議案を知事等が実施します。

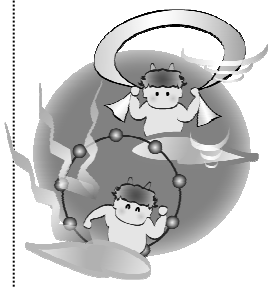
時節の川柳大募集

先月のお題は「雷」
沢山のご投稿有り難うございます

雷も
今じゃソーラー
システムだ（あおさん）

雷と
親の意見は
そこしれぬ（入りさん）

雷の
社会も今年は
節電だ（橋さん）

次回のお題は「虫」

貴方の川柳を次号「あらい絹世の磯っ子レポート」に掲載します。
・匿名、イニシャルで結構です。
・お住まいの町名、差し支えなければお名前をお書き下さい。
・お申し込みは FAX で
（締め切りは 8 月 27 日です）
・残念ながら賞金・賞品の提供はございません。